

ケーススタディ:

相互承認協定(MRA) 現状と今後の展望

総務省 MRA 国際ワークショップ 東京
2024年3月7日

ICCJ日本 中西伸浩

MRA（相互承認協定）

概要

協定には

二国間協定と

APECTEL MRAが支援する多国間協定の2つがある。

主管する当局および機関には

RA（規制当局）

DA（指定当局） および

AB（認定機関） がある。

MRA (相互承認協定)

概要

実務上のMRAには2つのプロセスがある。

フェーズ1 試験所間の連携(ISO17025)

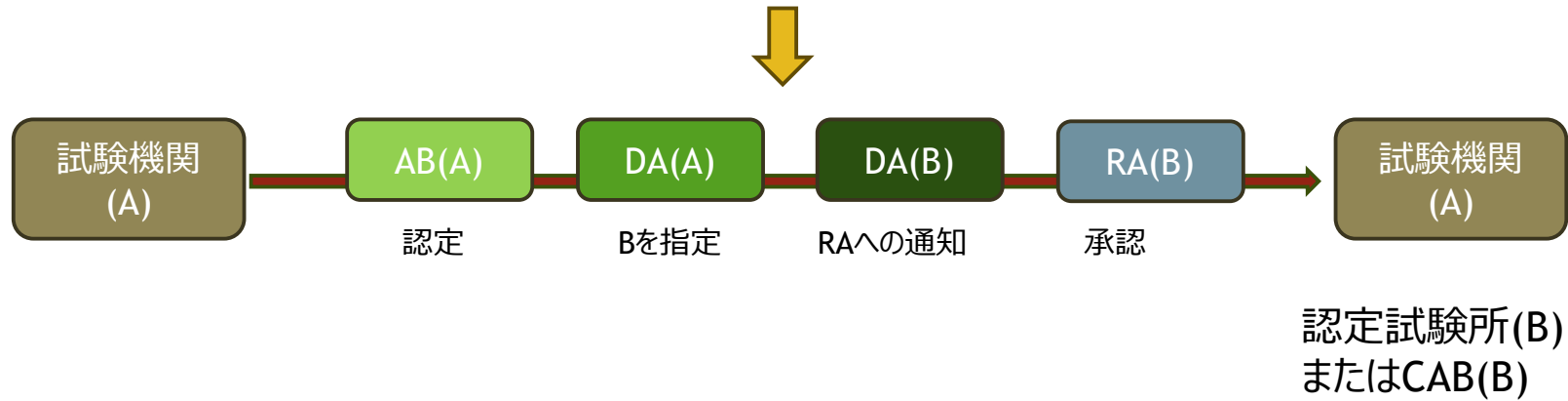
フェーズ2 適合性評価機関の連携(ISO17065)

MRA (相互承認協定)

概要

MRAプロセスの手順

*(A): 経済圏A、(B): 経済圏B



MRA (相互承認協定)

実績

EUと日本との間でMRAが締結されてから22年以上が経過した。日米間では17年が経過している。

両協定は、今もなお多くの問題を抱えている。

問題の改善手段については、今後国際会議で何度も議論されることになるだろう。

テレコムMRAの効果的な実施における ベストプラクティス

2023年3月16日

Ramona Saar

米国国立標準技術研究所(NIST)

アメリカ合衆国商務省

まとめ

参考資料



1. 透明性

スキーム要求事項の文書化



2. CABの能力

評価チェックリストの提供



3. 移行期間

要求事項変更のための移行
期間の設定



4. 継続的な研修

定期的な情報共有／研修会
の実施

本日、MRA実施を成功させるためのベストプラクティスを数例検討しました。

検討したベストプラクティスの事例は、TEL MRAパートナー（固有の）要求事項に適合させるための適切な試験／認証におけるCABの能力確保に役立ちます。

本日の**MRA**ケーススタディ

現状:

- 実務上のMRA認定手順

ISO/IEC認定情報の国際化

MRAの現状

Roger Sheng (盛念伯) 氏 APAC

- 米国における試験手順と今後

万が一に備えた米国における試験手順の決定方法

William Graff氏 TCB Council



本日の**MRA**ケーススタディ

今後：

- 偽造試験報告書に対する防護

ブロックチェーン活用の可能性

Bernie Fuller氏 Blockchain Verified スウェーデン



- 各セクターでの共通試験手順の国際化

電気安全分野におけるCBスキーム

梶屋俊幸氏 IECEE

- EUにおける新分野、サイバーセキュリティと今後

現在のEUにおけるサイバーセキュリティ認証機関

Matthias Springer氏 TUV Nord Cert



どうぞご期待ください。

中西伸浩 (nob-Nakanishi@dspr.co.jp)

2024/2/29

10